

第69回 西日本
読書感想画
コンクール

九州・山口各県図書館協議会選定
指定図書

小学校低学年1・2年

※価格はすべて税込み価格

西日本読書感想画コンクールは、本を読み、感じたことや考えたこと、心に浮かんだイメージなどを絵に表現することで、読書への意欲を高め、豊かな感性、想像力を育てることを目的に毎年開催しています。前回は約30万点の応募があり、地方での開催としては最大規模を誇ります。



詳しくはこちら

おふろ、はいる？

飯野和好／作

【あかね書房】1,540円

「みんなは、どんなお風呂に、はいる？」。大人から子どもまで、さまざまな人がお風呂にはまっている姿を、飯野和好がユーモラスに描きます。様々なお風呂のスタイル、歴史もおりこみ、お風呂の楽しさ、気持ちよさ、日本のお風呂文化の豊かさを伝えます。いつも身近にある「お風呂」をテーマにしているので、小さな子からお年よりまで、楽しめます。読み終わったあと、「ああ、お風呂はいいたい！」と思える絵本です。

<選定理由>

お風呂といっても銭湯、露天風呂、五右衛門風呂、温泉といろいろあります。お風呂は日本の文化です。どんなお風呂でも気持ち良くて、ほっとします。読んでいる子どもたちも楽しいお風呂の文化を描いてほしいと思います。



かいじゅうのすむしま

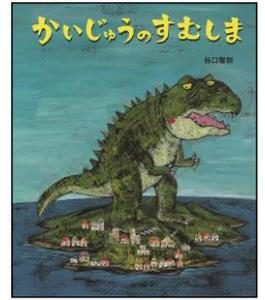
谷口智則／作

【アリス館】1,760円

かいじゅうの住む島では、大雨が降ると、かいじゅうが大きなかさをさし、日照りが続くと島に雨を降らせ、島を守っていた。でも、住民は気づかなかった。そんなある日、となりの島からミサイルがとんできた。かいじゅうは、ミサイルを自分のからだで受け止めたが、争いはおさまらなかった。かいじゅうは、静かに倒れて動かない……。この後、希望に満ちたラストで終わります。いろいろなことを考えるきっかけになる絵本。

<選定理由>

島をいつもさりげなく守ってくれているかいじゅう。でも、島に住む人々には、なかなかその優しさが伝わらなくて、かいじゅうのことをこわがってばかり。切なさや悲しみと、希望とを感じて欲しいです。



キッチンカーです

オームラトモコ／作・絵

【教育画劇】1,540円

ププー。じどうしゃがやってきました。でも、ただのじどうしゃではありません。キッチンカーです。パトカーやしょうぼうしゃやミキサーしゃもやってきて……。なんとやっぱりキッチンカーです！！からさのえらべるカレー屋さんに、こだわりスープのラーメン屋さんにピザ屋さん、メニューもいっぱい！！ーさあ、あなたはどれがたべたい？人気のりものがつぎつぎキッチンカーに変身する絵本。パノラマも圧巻です。

<選定理由>

子どもたちが大好きな乗り物がキッチンカーに変身します。あっと驚くキッチンカーはおいしい食べ物がいっぱい。あなたはどれが一番好きですか？変身する車やたくさんさんのメニューに想像が広がります。



ひみつの とっくん

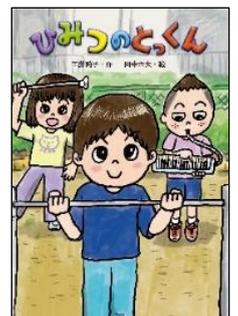
工藤純子／作 田中六大／絵

【金の星社】1,430円

ぼくは公園に行った。さか上がりの練習をしようとしたとき、ぐっちゃんに声をかけられた。「さか上がりなんて簡単だよ」ぼくは頭にきて走って帰った。翌々日も練習したが、できない。そのとき不気味な音がした。ぐっちゃんが鍵盤ハーモニカの練習をしている。「鍵盤ハーモニカなんて簡単だよ」ぼくはハツとした。ぐっちゃんとぼくは公園で練習してから登校するようになった。ある朝、ゆいちゃんが「なんで毎朝一緒なの？」と怒っている…。

<選定理由>

だれにだって苦手なことはある。あきらめずに苦手を克服しよう。友達と一緒になら大丈夫。そんな気持ちにさせてくれるお話です。



みつばちさんのティールーム

ヘイリー・バレット／文

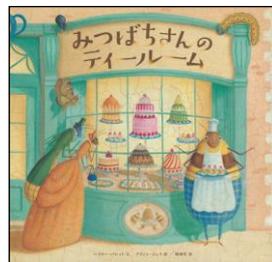
アリソン・ジェイ／絵

蜂飼耳／訳 【徳間書店】1,980円

みつばちさんのティールームは、行列のできる人気のお店。ケーキにパイ、タルト…おいしいおかしをいただきながら、ゆったりとお茶の時間を楽しめます。ところがある日、キッチンではたらくてんとうむしたちがみんな飛んでいってしまいました。手が足りず、キッチンはめちゃくちゃ。困ってしまったみつばちさんを助けたのは…？友だちを思う気持ちを描くあたたかい絵本。おいしそうなおかしもたくさん登場！

<選定理由>

みつばちさんのティールームは、おいしそうで素敵なお菓子がいっぱい。でもある日働いていたテントウムシがいなくなり、厨房は大変なことに。こまっているみつばちさんをたすけたのは？美味しそうなお菓子やおかししたお客様の絵が素敵です。



ネズネズのおえかき

nakaban／著

【文溪堂】1,650円

ここは絵描きのネズネズの家。聞こえてくる水の音やおいしそうなお菓子の匂い。身近なものからイメージをふくらませて、歌いながらどんどんキャンバスに描き進めていくネズネズ。歌とともにキャンバスに広がるそうぞうの世界。いったいどんな絵ができてあがるでしょう？読んだあとは、みなさんもネズネズのように、歌いながらお絵描きしたくなるかもしれませんね。

<選定理由>

えかきのネズネズは、身近にあるものからどんどん絵を描いていきます。最後に描くのは…。イメージを膨らませ絵を描くネズネズに自分を重ねて楽しく描いてほしい1冊です。

